

工程表改訂に向けた中間取りまとめの構成

平成 28 年 4 月 26 日
宇宙政策委員会

1. 構成

(1) 本文文書に加え、(2) 宇宙産業ビジョン、(3) 衛星リモートセンシング政策に関する基本的方針、(4) 宇宙システム海外展開タスクフォースの今後の展開に関する付属文書の四部構成。

2. 各部に盛り込むべき事項

(1) 本文文書

昨年同様、平成 29 年度概算要求に向けて関係府省が検討を深めるべき論点とその方向性・検討体制を具体的に提示。その内容は宇宙政策委員会の関連資料(2 月及び 4 月)をベースに、5～6 月に開催する各部会や関係府省との議論を通じて検討を進めていくこととする。

(2) 宇宙産業ビジョン

宇宙機器・利用産業の将来動向や政府の関与の在り方に関する基本的視点を整理する「宇宙産業ビジョン(仮称)」の策定に当たっての主要な論点や検討の方向性等について整理・提示。

(3) 衛星リモートセンシング政策に関する基本的考え方

衛星リモートセンシング記録の適正な取扱いの確保に関する法律案の国会提出を踏まえ、衛星リモートセンシング政策全般に関する基本的な考え方を整理・提示。

(4) 宇宙システム海外展開タスクフォースの今後の展開

昨年夏に立ち上げた宇宙システム海外展開タスクフォースの活動の実績を踏まえ、具体的な課題に対応するための今後の展開についての考え方を整理・提示。

以上